

震度6強、集中豪雨

上里町の「そのとき」

東日本大震災、熊本地震、大阪府北部地震、鬼怒川決壊、西日本豪雨。近年、全国各地で未曾有の災害が発生しています。上里町にも起こりうる「そのとき」、何が起きるのでしょうか。



防災面から見た上里町

○自然的特性

表層地盤は、北部・西部の河川沿岸地域は扇状地、南東部はローム台地となっており、県下では比較的地震動に対して強い地盤です。全体的に液状化の可能性は低い地域ですが、扇状地である町北部には、液状化の可能性がやや高い地域が分布しています。また、町域には活断層「関東平野北西縁断層帯」がかかっています。

町内には烏川、神流川、利根川、忍保川、御陣場川など複数の河川が流れ、用排水を兼用している水路も多くあります。河床勾配が緩やかなこと、遊水池機能を有していた水田等が減少したことなどから、排水可能量を上回る豪雨が降った場合には浸水が予想されます。また、一級河川である烏川、神流川、利根川流域で想定最

大規模の雨が降った場合には、町域の浸水が予想されています。

また、特に夏季において、雷雨が発生しやすい地域であることから、突風・竜巻などが比較的に起こりやすいことも想定されます。

○社会的特性

平成29年度固定資産税台帳によると、町内の建築物19,276棟のうち、約75%が木造です。

建築物全体のうち、39%が昭和56年の新耐震基準の導入前に建築されており、勅使河原、帯刀、五明、藤木戸地区では、50%を超えています。

また、人口の10.9%が75歳以上であり、65歳以上の増加率は県内で最も高い水準にあることから、高齢者人口は今後も増加していくと考えられます。

町の災害の歴史

多くの河川や活断層を有している上里町では、過去にも災害が発生しています。

昭和41年9月に発生した台風26号では、死傷者や多数の家屋が全半壊する被害がありました。また、平成26年2月に発生した豪雪では、これまで経験したことのない60cmを超える積雪により、農業用施設やカーポートの屋根の崩落などの被害が相次いだほか、交

通網のまひや物流の停滞も発生し、休校やごみ収集の停止など日常生活への影響もありました。

「天災は忘れた頃にやってくる」と言われるように、災害は50年・100年、あるいはもっと長い間隔で発生します。

過去の災害に学び、備蓄や避難経路の確認などを行いましょ。

上里町における災害の履歴

地震

| 発生年 | マグニチュード | 震源地域 | 埼玉県の被害状況（抜粋） |
|-----------------|---------|-------|---|
| 818年 | 7.5 | 関東諸国 | 相模・武蔵・下総・常陸・上野・下能等、山崩れ谷埋まること数里、百姓の圧死者多数。 |
| 1855年 11月11日 | 6.9 | 江戸 | 推定震度大宮5、浦和6。荒川沿いに北の方熊谷あたりまで、土手割れや噴砂等の被害があった。土蔵は所々で大破、壁落等あり。 |
| 1923年 9月1日 | 7.9 | 関東南部 | 埼玉県内の死者316名、負傷者497名、行方不明者95名、家屋全壊9,268軒、半壊7,577軒。 |
| 1931年 9月21日 | 6.9 | 埼玉県北部 | 埼玉県内の死者11人、負傷者114人、全壊家屋172戸、中北部の荒川、利根川沿いの沖積地に被害が多い。 |

風水害

| 発生年 | 災害事象 | 被害状況 |
|-------|-----------------|---|
| 1783年 | 大風雨による神流川・烏川の氾濫 | 浅間山噴火による降灰との複合災害。烏川右岸八町河原村が被災。 |
| 1846年 | 連日の大雨による神流川氾濫 | 毘沙吐村が浸水被害により、対岸の新町宿へ移転。勅使河原村字天神が同村字真下の東へ移転。 |
| 1911年 | 神流川・烏川の氾濫 | 黛村・忍保村・八町河原村が被災。 |
| 1966年 | 台風26号による暴風雨 | 家屋倒壊、上里村に災害救助法適用。 |

（参考：上里町「上里町地域防災計画」）

震度6強、そのとき上里町は

平成23年3月11日の東日本大震災で上里町は震度5弱を観測しましたが、大きな被害はありませんでした。しかし、「平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査報告書」では、これを上回る震度6強が想定されています。

震度6強の地震では、「はわないと動くことができない。飛ばされることもある」「固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる」「耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる」「大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山体の崩壊が発生することがある」とされています。

木造建築物は、傾きや倒壊の危険性があるほか、ブロック塀や自動販売機が倒れたり、室内では固定していない家具が倒れる危険性があります。また、木造住宅が密集している地域では、火災が発生した場合、延焼の恐れがあります。

一般的に、災害の規模が大きくなるほど、町警察・消防が個々の家まで助けに回れなくなります。そのため、自助、共助への取り組みがより重要となります。

「関東平野北西縁断層帯地震 (破壊開始点北)」における 上里町の被害想定概要

規模

最大震度…………… **6強**

マグニチュード …………… **8.1**

人的被害

死者…………… **36人**

負傷…………… **280人**

避難所避難者…………… **1,738人**

建物被害

全壊…………… **533棟**

半壊…………… **1,376棟**

焼失…………… **99棟**

ブロック塀等の倒壊
…………… **1,065か所**

ライフライン被害

停電率…………… **100%**(地震直後)

…………… **19%**(1日後)

断水率…………… **74.2%**(1日後)

(参考: 埼玉県「平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査報告書」)

昭和42年2月16日発行 上里

被害状況調

(昭和41年9月29日17時現在) 上里村

| 区分 | 被害数 |
|-----------|-------|
| 人的被害 | |
| 死者 | 2 |
| 行方不明 | 0 |
| 重傷 | 5 |
| 軽傷 | 1 |
| 小計 | 6 |
| 建物被害 | |
| 全壊、全焼及び流失 | 27 |
| 半壊及び半焼 | 255 |
| 一部破損 | 2,562 |
| 床上浸水 | 1 |
| 床下浸水 | 184 |
| 家数の被害 | |
| 全壊全焼 | 27 |
| 及流失 | 132 |
| 世帯数 | 255 |
| 半壊及び半焼 | 1,355 |
| 人員 | 2,542 |
| 一部破損 | 1,070 |
| 人員 | 1 |
| 床上浸水 | 3 |
| 人員 | 184 |
| 床下浸水 | 793 |
| 人員 | |

災害発生日 昭和41年9月25日

二十六号台風の惨状

近世未だ曾てなかつた二十六号台風のつめあつた余りにも大きかつた。特に多大な災害家庭各位には心から御見舞を申し上げ、犠牲となつた諸位に対しては深甚なる哀悼の意を表します。



上里村指定文化財 武田信玄内室墓所倒壊

▶昭和42年(1967年)2月発行の「上里広報」にて、台風26号の被害状況を伝える記事。282棟の住宅が全半壊、2,562棟が一部破損し、上里村指定文化財武田信玄内室墓所が倒壊したと写真で伝えている。

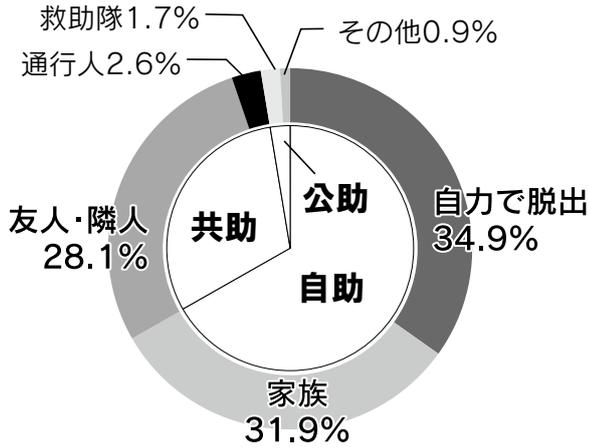
減災のための

3つの備え

減災とは、災害による被害をできるだけ少なくするための取り組みのことです。減災には、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域で助け合う「共助」、公的機関による「公助」の連携が重要だと言われています。その中でも基本となるのは「自助」、一人ひとりが自分の身の安全を守ることです。

大規模災害時、特に初動時は行政による災害対応に限界が生じます。いつ来るか分からない「そのとき」。命を守るために、備えてください。

阪神・淡路大震災における生き埋めや閉じ込められた際の救助主体等



(参考：内閣府「平成30年度版防災白書」)

自助の備え

～自分や家族の安全を、自分自身で守る～

備蓄



備蓄例(3日分)

3日分の飲料水(1人1日3ℓ)、食料、懐中電灯・ラジオ・カセットコンロ、ウェットティッシュ・常備薬など

住宅耐震化



町では、昭和56年以前に建てられた住宅の耐震診断・耐震改修に補助金を出しています。

家具転倒防止

家具の下敷きになったり、避難経路を塞がないように対策をしましょう。家具が倒れてこない場所で寝ることも大切です。



感震ブレーカーの設置

地震発生時や停電復旧時に配線や電気機器から出火することがあります。避難する時にはブレーカーを落としましょう。



共助の備え

～地域コミュニティによる助け合い～

区長を対象とした防災講座や、地区集会所への防災出前講座を行っています。

地域の行事に参加して交流するなど、日頃のコミュニケーションも大切です。



区長向け防災講座



防災出前講座

公助の備え

～町・警察・消防・自衛隊による公的な支援～

町職員を対象とした図上訓練(地図を使った災害シミュレーション訓練)や、防災研修会(避難所運営等)を行っています。



図上訓練



防災研修会

防災情報メールを登録しましょう

防災行政無線の放送の内、緊急を要する情報をメールでお知らせします。

①QRコードを読み取り、指定のメールアドレスに空メールを送信。

※読み取れない場合はp-bousaikamisato@m.blayn.jpへ空メールを送信。

②登録確認メールが届いたら、登録完了です。

※登録確認メールが届かない場合は、ドメイン指定受信設定を確認してください。

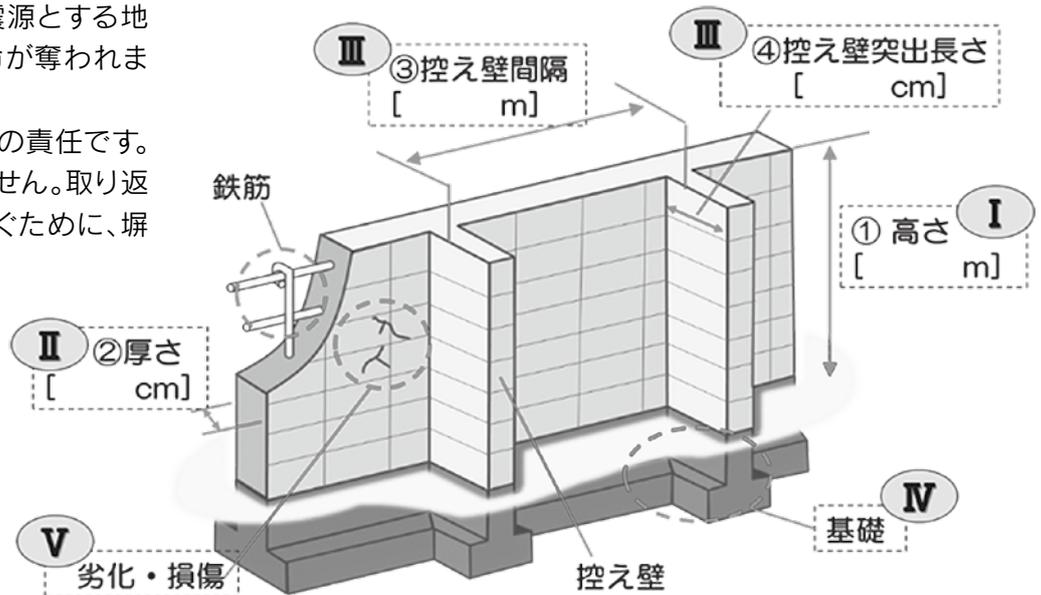


我が家のブロック塀は大丈夫？

6月18日の大阪府北部を震源とする地震では塀の倒壊により、尊い命が奪われました。

塀の安全性の確保は所有者の責任です。地震はいつ起こるかわかりません。取り返しのつかない事態を未然に防ぐために、塀の自己点検を行いましょ。

下記チェック項目で、ひとつでもチェックとまらない項目があった場合には、専門家に相談し、危険性が確認された場合は、付近通行者へ速やかな注意表示のうえ、補修・撤去等を行いましょ。



チェック項目

| | ブロック塀の場合 (補強コンクリート ブロック造) | 組積造の塀の場合 (石積みやレンガ積みの 塀など) |
|--------------|---|---|
| I. 塀の高さ | <input type="checkbox"/> 地面から2.2m以下である | <input type="checkbox"/> 地面から1.2m以下である |
| II. 塀の厚さ | <input type="checkbox"/> 厚さ10cm以上(塀の高さが2mを超える場合は15cm以上)である | <input type="checkbox"/> ②厚さが次の値☆以上ある 計算:①高さ(m)×10=(☆ cm) |
| III. 控え壁 | III-1またはIII-2のいずれかを満たしている | III-1またはIII-2のいずれかを満たしている |
| III-1. 控え壁不要 | <input type="checkbox"/> 塀の高さが1.2m以下である | <input type="checkbox"/> ②厚さが次の値☆以上ある 計算:①高さ(m)×15=(☆ cm) |
| III-2. 控え壁必要 | <input type="checkbox"/> ③控え壁間隔が3.4m以下である ④控え壁突出長さが次の値☆以上 計算:①高さ(m)×20=(☆ cm) | <input type="checkbox"/> ③控え壁間隔が4.0m以下である ④控え壁突出長さが次の値☆以上 計算:②厚さ(cm)×1.5=(☆ cm) |
| IV. 基礎 | <input type="checkbox"/> コンクリートの基礎がある | <input type="checkbox"/> 基礎がある |
| V. 劣化・損傷 | <input type="checkbox"/> 傾き、ひび割れがない | <input type="checkbox"/> 傾き、ひび割れがない |

まずはブロック塀を造った施工業者に確認してもらうことが第一です。

それでも不明な場合は専門家、または所管の埼玉県建築安全センター・お住まいの市町村にご相談ください。

塀に関する専門的なご相談はこちらへ(専門家)

(公社)日本エクステリア建設業協会【☎03-3865-5671】

(一社)埼玉県建築士事務所協会【☎048-864-9313】

(一社)埼玉建築士会【☎048-861-8221】

埼玉県熊谷建築安全センター

【☎048-533-8776】

上里町役場 まち整備課 都市計画係

【☎35-1227】



千葉県長生村と災害時相互応援協定を締結しました

8月1日(水)、千葉県長生村と「大規模災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

長生村は、太平洋に面する九十九里浜の一端にある千葉県唯一の村です。人口は14,471人(平成30年1月現在)、面積は28.29km²で起伏が少なく、上里町に似た平坦な地形です。今後、幅広い分野で継続的な協力関係を築き、相互の発展を図っていきます。